

こつとつとの教育



発行／江東区教育委員会 編集／教育広報編集委員会
〒135-8383 東京都江東区東陽4-11-28 ☎3647-9111

第9号 平成18年9月28日

「二十年の歴史の重みを感じて」

江東区立中学校生徒

海外短期留学を終えて

平成18年7月22日(土)

記念すべき第20回の短期留学生
が、教育センターで行われた出発
式で室橋江東区長の激励をいただ
いた後、成田空港からカナダに向
けて飛び立ちました。

39名の留学生と引率団6名は、
5月末の結団式以降、8回の研修
の中で英会話はもちろん、留学生
としての自覚を深め、結束を強め
てきましたが、往きの飛行機の中
では、やや緊張した面もちの生徒
もいました。

現地時間の23日(日)から、い

よいよホームステイが始まりまし
た。ホストファミリーと対面した
留学生は、みな戸惑い気味で、ホ
ストファミリーと話をしようと思
っても言葉が出てこないという様
子でした。引率団としては、最も
不安な場面で、留学生達のがんば
りを信じるのみでした。

英語と雄大な自然に包まれて

翌日からは、英語の学習です。
会話を中心に、様々なプログラム
が組まれており、留学生は、まさ
に英語漬けになりましたが、一つ
一つの課題に熱心に取り組みまし
た。中には、イヌイットの方の話
を聞き、文化に触れるという内容
もありました。日本の歴史や文化
と比較して、大きな違いを感じつ
つ、共通点を見つつけられた生徒も
大勢いました。

現地ボランティアの高校生との
交流も楽しく行われ、それととも
にホストファミリーの皆さんの溢
れんばかりの優しさを受け、全て

の留学生が、たどたどしい英語で
はありますが、一生懸命にコミュ
ニケーションをとろうと努力して
いました。

今回の留学も天候に恵まれ、ス
コーミッシュ滞在中はほとんど雨
が降らず、快適な日々でした。記
録的な猛暑といわれる日もありま
したが、梅雨の日本から来た留
生にとっては、湿気の少ないさわ
やかな暑さでした。

ホームステイ先では自宅のプ
ールや近くの湖で泳ぐ体験ができた
生徒もいました。また、日暮れが
夜10時ごろであるため、夕食後、
涼しいときに映画を見に行っ
たり、テニスやサッカーを楽しん
だりしたという声もありました。

他にホームステイ先では、腕を
ふるって夕食の手巻き寿司をつ
くった生徒、朝夕に合計2時間程
度の犬の散歩を任せられた生徒、
3歳の男の子の相手をする中で英
語が上達した生徒など、様々で
した。どの家庭でも、家族の一員として、
温かく受け入れていただき、カナ
ダの皆さんの優しさを全身で感
じることができました。

二十年の重みを感じて

今年度は第20回の短期留学とい
うことで、それを記念していくつ
かの公式行事が行われました。こ

の写真は、お世話になっているス
コーミッシュ市庁舎を団長の加々
美肇第三亀戸中学校校長が訪問し、
記念の江戸風鈴を贈呈した場面
です。31日には、過去にホームステ
イを受け入れていた方々にも参加
いただき、20周年記念パーティー
を開きました。



スコーミッシュ市庁舎にて

また、姉妹都市であるサレー市
への表敬訪問では新装された市庁
舎内に子どもたちの合唱「花」
「カナダ国歌」を響き渡らせ、市
職員や市民の皆さんから大きな拍
手をいただきました。留学生達は、
20年間という積み重ねの重さをし
っかりと受け止めて、親善大使の
責任を果たすことができました。

これまでこの留学を経験した七
三八名のうち、初期の生徒はす
でに30代となっています。中には、
留学で感じたことを大切にして海



20周年記念式典会場 イーグルアイシアターにて

外の大学に進んだ人や、国際社会に貢献する仕事をしている人もいるということです。スコームッシュユでの最終日、大粒の涙をこぼしながらカナダの家族との別れを惜しむ子どもの姿を見て、今回の子どもたちにも、必ずこの経験を活かして活躍してほしいと強く考えました。

江東区立中学校生徒海外短期留学は、昭和62年度に第1回を実施し、以来20年間継続して実施されています。

留学の内容は、ホームステイを通して、外国での家庭生活を体験し、自然、文化、風俗、習慣等を学ぶことです。そして、留学生は、体験や学習した内容を学校などに報告するとともに、学校や地域社会での国際理解に役立てるといふ使命を担っています。

留学生は、5月の結団式で初めて顔を合わせ、宿泊を含めて8回の研修を行います。英語力はもちろん、カナダの地理や文化を理解すること、生活のマナー、さらに日本の文化を紹介するための打ち合わせなど、内容は多岐にわたります。短期留学に必要な様々な内容を研修したうえで、7月末に留学がスタートします。

教育センター通信

江東区教育センターでは、各種の事業を通して子ども達の「Head・heart・hand」をはぐくむサポートをしています。本号は、児童生徒の教育効果をあげる基となる先生方のパソコン研修・新規採用教員の実技研修を取り上げます。

はっらっ！先生

「先生もべんきょうしています」

◎パソコン研修

先生方が授業で、パソコンを活用するためには、自分自身が十分用いるためには、自分自身が十分用いることが大切です。

当センターでは、毎年教職員を対象としてパソコン研修を6月から11月にかけて行っています。

研修内容は、文書作成、表計算、プレゼンテーション、ホームページ、インターネット、画像処理、情報処理等です。

この他に、新しいソフト等教材の紹介も実施しています。

夏季休業中の研修会は、毎回定員(20名)を超えるほど盛況です。20〜30歳代のパソコン操作のできる先生には、より高い技術を、不得意な先生には、基本的操作技能の習得を目指して研鑽を積んでいます。

パソコンの操作を習熟し、学習

指導や情報処理に活かし、効果的かつ充実した授業の展開を願っています。

◎プールでも研修してます

大きな浮き輪を持って潜りこぼりこぼり、水中ジャンケン、大きな輪になって伏し浮き・・・

「ワー」「キヤー」の声は、子どもたちのプールの時のようです。

これは北砂スポーツ会館のプールでの新規採用教員の研修風景です。



～プールで実技研修する新規採用の先生たち～

学校のプール開きに間に合わせようと、今年も6月16日全員参加で水泳実技研修を行いました。

各学校・幼稚園の水泳指導の安全と充実のための研修です。

この他にも、夏休みには、日光での宿泊研修を実施します。年間を通して、授業や保育を中心とした研修、幼小中との交流のあり方を探る研修などがあり、指導する力をつけています。また経験年数二・三年の先生たちも研修をしています。

この実技研修で培った指導姿勢や技能を安全なプール指導に活かしています。

驚き・

そして感動

「江東子どもまつり」

5月28日の「子どもまつり」では「万華鏡」作りに取組みました。中心となるポリカーネットミラーには事前にカッターで切り込みを入れておきました。

できる限り、子どもの手で作らせようと準備をしました。

当日は、開始直前から、大勢の子どもで賑わっています。作り方について説明し終わると同時にわれ先に子どもたちが作り始めました。先ず、ミラーを折って、三角柱を作りますが、思うように折れず、先生方に手伝ってもらった子どもがなかにいます。



～親子で楽しむ万華鏡づくり～

三角柱づくりが終わると、小さく切った千代紙を筒の中に入れて、早速覗き込んでいます。

「わぁーきれいだ」と驚嘆の声。側で見守っていたお母さんや、お父さんに誇らしそうに見せています。

「すごいわねー」お母さんも、お父さんも大喜びでした。用意した材料も「あっ」という間になくなりました。

「江東まなびプラン」を改訂

—平成18〜21年度の新しい 生涯学習・スポーツ計画—

区民の皆さんが継続的・主体的に学ぶことができ、学習の成果を活かしていただけるよう、区や区関係団体が実施する生涯学習関連事業を体系的に集約し、その方向性を示したものです。改訂前の計画は平成13〜21年度の期間でしたが、前半期を経過したことや二一トといわれる社会人として自立できない青年の増加、子供が被害者となる事件の多発等この間の情勢の変化等を踏まえ、後半期の必要な見直しを図ったものが、この「改訂版」です。その概要をご紹介します。

これからの取組

区が行った「江東区政世論調査」結果等から、区民の皆さんの生涯学習に関する動向や最近の社会情勢を踏まえて、別表の体系図のとおり、四本の施策の柱で構成しています。区民やNPO、民間事業者の皆さんの力も活かしながら、

「いつでも、どこでも、だれでも」が継続的に学ぶことができる条件整備をすすめること、非行の低年齢化、引きこもり、ニートなどの問題が深刻化しており、子供の自主性や協調性を育み、仲間作りやボランティア活動、自然体験など多様な活動への参加促進や家庭教育の支援、家庭・学校・地域・関係団体の協力を促進すること、犯罪から子供を守るための学校・行政・地域の一体となった取組を進めること、また、区民の学習を支援する情報提供・相談体制の充実をすすめることなど、を掲げています。

重点目標

加えて、4つの重点目標を別表のとおり掲げました。
「一、地域を拠点とした区民スポーツ活動の充実」では、誰もが、経験や趣味・関心に応じて、スポーツに参加して楽しむこと、「二、青少年への理解の促進と地

域教育力の再生」では、青少年に開く団体が多いという区の特徴を生かして、青少年健全育成組織を支援し、地域教育力の向上を図ること、「三、学校教育と社会教育の連携・融合の推進」では、学校だけでは対応が難しい多くの課題があることから、子供の育成支援のために、各種の事業等をおしてこれを進めること、「四、子ども

の安全対策の充実」では、学校を含めて地域社会全体で知恵を出し合い、安全を守る体制を強化していくこと、を目標としました。
事業への積極的参加を
これらをおして、区の将来像や目標である「伝統と未来が息づく」、「心豊かな生活と文化を創造するまち」の実現と、学習の成果が評価され活かされる生涯学習社

会の創造を目指しています。区民が主人公です。皆さんのご理解とご協力、そして、各事業への積極的な参加をお願いします。
区のホームページにも10月以降掲載を予定しておりますので、是非こちらもご覧下さい。
生涯学習課
（3647）9811

江東まなびプラン施策の体系

I. 区民が主体の生涯学習

- 1 グループ・サークルの自主的活動の支援と成果の共有・活用 (16事業)
- 2 学習ボランティアの育成 (8事業)
- 3 区民が企画する講座・イベント (6事業)
- 4 生涯学習関連施設の充実 (14事業)
- 5 開かれた学習機会の充実 (9事業)
- 6 生涯学習プログラムの充実 (23事業)

II. 次代を担う子どもたちの健やかな成長を願って

- 1 家庭教育・子育て支援の充実 (13事業)
- 2 家庭・学校・地域・行政の連携 (8事業)
- 3 学校教育改革の実施 (17事業)
- 4 青少年の居場所づくり (12事業)
- 5 子どもの安全を守る (2事業)

III. 区民の学習を支援する情報提供・相談体制の充実

- 1 関係機関によるIT化の推進 (9事業)
- 2 情報化社会に対応した学習機会の整備 (7事業)

IV. 生涯学習推進体制の整備

- 1 区・教育委員会・学校・(財)地域振興会・(財)健康スポーツ公社他関係機関の協力・連携 (7事業)

《重点目標》

- 1 地域を拠点とした区民スポーツ活動の充実
- 2 青少年への理解の促進と地域教育力の再生
- 3 学校教育と社会教育の連携・融合の推進
- 4 子どもの安全対策の充実

新たな出発

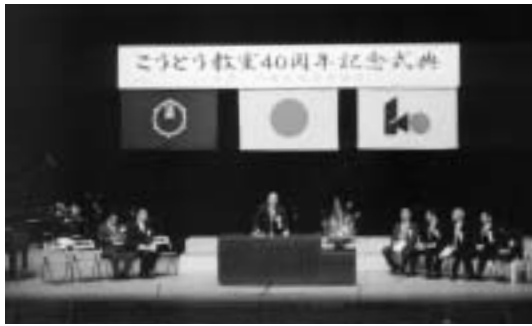
「エンジョイ・クラブ」

知的障害者の余暇活動を支援する「ことう教室」は40周年を機に、平成18年度から名称を「エンジョイ・クラブ」に変更し、より楽しい雰囲気での学びの場として新たなスタートを切りました。

40周年を迎える

エンジョイ・クラブは平成17年度に40周年を迎え、去る2月26日江東区文化センターホールに於いて記念行事を開催しました。

レクリエーション活動等で交流のある千代田・中央・墨田区の受講生や作業所の仲間など大勢の皆さんにご参加いただき盛大に行われました。



40周年記念式典

主催者挨拶、来賓から祝辞をいただいた後、受講生によるミュージカルやシンポジウム、さをりフアッションショーなど日頃の活動の成果が発表されました。

この日のために練習を重ね作り上げた舞台にほぼ満席となった会場から温かい声援と拍手が送られました。

式典終了後は会場をレクホールに移し、和やかな雰囲気の中祝賀会が行われました。

スポーツやパソコン、音楽や手工芸など受講生の余暇活動を支援



シンポジウム「私の夢」



200人を上回る参加がありました

40年のあゆみ

してくださるインストラクターの皆さんや作業所の職員の皆さん、そして家族や友人達と語り、踊り、楽しい時を過ごしました。

◎昭和41～45年度

深川第四中学校を活動場所として「江東区中学特殊学級卒業生クラブ」(旧江東日曜教室)を指導室の所管で開設。

活動は第2・第4日曜、講師は特殊学級の教師が当たる。
※当時「知的障害学級」は「特殊学級」と呼ばれていた。

◎昭和46年度

社会教育課(現生涯学習課)に移管。中央・墨田区と交流を目的に3区合同運動会開始。

受講生数の推移

〈別表1〉

年度	男性	女性	計	年度	男性	女性	計
S45	28	18	46	H1	70	26	96
46	—	—	41	2	57	28	85
47	32	16	48	3	73	26	99
48	41	23	64	4	66	34	100
49	30	22	52	5	57	28	85
50	34	23	57	6	61	32	93
51	29	21	50	7	65	36	101
52	39	25	64	8	62	39	101
53	—	—	49	9	62	39	101
54	—	—	45	10	59	39	98
55	38	29	67	11	71	40	111
56	31	15	46	12	60	52	112
57	27	17	44	13	62	54	116
58	34	17	51	14	61	51	112
59	40	21	61	15	59	49	108
60	56	29	85	16	57	43	100
61	66	31	97	17	58	44	102
62	70	35	105	18	62	45	107
63	—	—	97				

※平成18年度は8月1日現在、昭和41年度～44年度及びびー印は記録なし



力を合わせてオーエス

◎昭和49年度 活動場所を旧教育センターに移転。
◎昭和50年度 10周年記念誌発行。
◎昭和54年度 教室活動を円滑に運営するため、運営委員会を設置。
◎昭和55年度 千代田区が加わり4区合同運動会を開催。

◎昭和56年度 一般区民の講師参加。
この年の運営体制は社会教育指導員1、教育センター事務職員1、心障学級教師6、普通学級教師2、区民講師等9、の計19名であった。以降徐々に教師が減り区民講師が増えていった。
◎昭和60年度 活動場所を新築された現教育センターに移転。20周年記念行事開催。

◎昭和61年度 平日の午後・夜間の「学習会」開始。第2・4の「教室活動」の他、第1・3日曜の自主活動の3形態確立。
この学習会はユニークな活動として評価され平成5年に※山本賞を受賞した。

※障害児の教育・福祉の分野で活動している団体に贈られる賞

◎平成元年度

社会教育指導員1名増、2名体制となる。

◎平成3年度

旧亀戸青年館や総合区民センターで行なわれていた城東地区の活動場所が、新築された青少年センターに移転。

◎平成4年度

「江東日曜教室」から「ことう教室」へ名称変更

◎平成7年度

30周年記念行事開催。

◎平成10年度

ことう教室の活動だけでなく、地域社会の一員として生きていくため、深川ソール等地域のイベントに積極的に参加。



決めポーズもばっちり

◎平成16年度
教育センター改修工事に伴い、青

〈別表2〉

平成18年度 サークル一覧 (50音順)

会場	教育センター		青少年センター	
	午前	午後	午前	午後
クラブ名 (活動日)	東陽第1クラブ (第1・3日曜日・年10回)		亀戸第1クラブ (第1・3日曜日・年10回)	
時間帯	午前	午後	午前	午後
サークル名	ソフトボール バスケットボール 料理	IT 演劇 手芸	フィットネス ミュージック 料理	IT 演劇 手芸 美術 フィットネス
クラブ名 (活動日)	東陽第2クラブ (第2・4日曜日・年10回)		亀戸第2クラブ (第2・4日曜日・年10回)	
サークル名	スポーツ リトミック 料理	IT アラカルト 工芸 七宝	アラカルトA 軽スポーツ 料理 和太鼓	IT アラカルトA アラカルトB さをり
クラブ名 (活動日)	東陽土曜クラブ(年15回)		亀戸土曜クラブ(年15回)	
時間帯	午後	夜間	午後	夜間
学習内容	ITほか	ITほか	ITほか	ITほか

【注】

- 1.日曜日のクラブは午前と午後のサークルを受講生が選んで組み合わせることができますが、定員を上回った場合はサークル間で調整します。また、1年間は同じサークルで活動します。
- 2.アラカルトは、散歩や話し合い、カラオケなど様々なジャンルの活動をします。
- 3.土曜クラブはITなどの学習を継続して3回、年間5期活動をします。
- 4.上記サークル活動の他、全クラブ合同での遠足・4区合同レクリエーション大会・クラブ祭・交流学習等が10回(日曜日不定期)あります。



パソコン学習

◎平成17年度

運営委員会で協議した内容に基づき、受講生や保護者にアンケートを実施。

(※受講生数の推移―別表―)

これからの
エンジョイ・クラブ

全ての受講生の希望には添えませんでした。アンケートのサークル選択結果に基づいて、左表のサークル構成になりました。

(※サークル一覧―別表2―)

午前中はスポーツで汗を流したり、昼食作りで料理に励んだり、また午後は手芸やパソコンなど

ゆっくりと楽しむプログラムになっています。

各サークルは、区報等で公募したインストラクターの皆さん36名が運営に当たります。

特技や資格を活かして和気藹々とした雰囲気の中で、受講生の学習活動を支援していただいています。

また、活動場所が東陽と亀戸地区に分かれています。年に数回合同で楽しむ交流学習も新しい試みとして今年度から実施しています。

今後は家族支援者の皆さんにご協力をいただきながら、自主的な学習活動の充実や地域との交流が課題となっています。

☑生涯学習課

(3647) 9809

教育委員会だより

◎教育委員長の就任について

去る7月25日付をもって、江東区教育委員会委員長および同職務代理者の異動がありました。

【現在の委員会構成】

- 委員長 前田 瑞枝
- 同職務代理者 河野 太郎
- 委員 清水 信純
- 委員 荒井 秀樹
- 委員(教育長) 鈴木 重臣

◎防犯ブザー取扱店について

かねてからお問い合わせがありました。学校で使用中の防犯ブザーの販売につきまして、「防犯ブザー取扱店」のポスターが張ってあるお店でお買い求めいただけます。どうぞご利用ください。

防犯ブザー取扱店一覧

各学校で使用中の防犯ブザーを下記お店で販売しております

販売価格 本体 630円
カバー 120円 合計 750円(税込)

東陽第1クラブ	東陽第2クラブ	亀戸第1クラブ	亀戸第2クラブ
東陽土曜クラブ	亀戸土曜クラブ	東陽第1クラブ	東陽第2クラブ
亀戸第1クラブ	亀戸第2クラブ	東陽土曜クラブ	亀戸土曜クラブ

いきいき スクール ネットワーク

お父さんと作った
ペットボトルの船、楽しい！

ちどり幼稚園



進め！ペットボトル船

ちどり幼稚園では、年に6回「お父さんと遊ぶ会」を行っています。7月3日、年長児とお父さんたちが力を合わせて、自分たちがプールで乗るペットボトルの船を作りました。

お父さんたちが、粘着テープを片手にペットボトルを次々と張り合わせ、いかだのような形を作っていきます。「ここ押さえてよ」「うん」と子どもたちも、粘着テ

大島南小学校 大島中央小学校

統合新校に向かって

大島南小学校と大島中央小学校は平成19年度から統合して大島南中央小学校としてスタートします。そこで、両校は一緒になる子どもたちが仲良くなれるように、今年度交流活動を行っています。5月2日には一つの学校が全校遠足で、一緒に亀戸中央公園に行きました。

そして、8月22日には、大島南小学校と大島中央小学校の6年生が、9月に行う連合水泳記録会に向けて、合同の水泳練習会を行い

ました。当日は、両校の先生方に加え、前大島南小学校長の飛田喜久夫先生もコーチとして参加し、熱のこもった練習となりました。クロールや平泳ぎの泳法に磨きをかけ、タイムも計りました。初めは緊張していた子どもたちも、一緒に汗を流しながら泳ぐうちにすっかり打ち解け合い、9月の水泳記録会での両校の健闘を誓い合いました。

子どもたちからは「一緒に練習できて楽しかった」という声が多



水泳記録会がんばるぞ

く聞かれ、6年生の水泳を通じた交流活動は、夏休みの心に残る思い出の一つになりました。

「2学期以降も交流活動をさらに進めて、子どもたちが、新しい学校で出会うのが待ち遠しいと思えるようにしていきたい。」と和田孝一・天田隆両校長は話していました。

ープを切ったり、ペットボトルをつなぎ合わせたりして、一緒に作ります。となりでは、大きなビニールシートに絵を描き船につける旗作り、丈夫な船ができるようにそれぞれが一生懸命に取り組み、ついに完成しました。

「揺れるけど大丈夫？」「本当に乗れるのかな」と恐る恐る乗り込みました。「ほら大丈夫だよ」「動かすよ、いいかな」お父さんたちに船を動かしてもらうと、プールは子どもたちの笑顔と歓声でいっぱいになりました。子どもたちの笑顔に、どのお父さんもとてもうれしそうでした。

脈々と受け継がれる伝統

亀戸中学校

今年度、開校60年を迎える亀戸中学校には、いくつもの伝統があります。その一つが運動会です。

5月29日に行われた今年の運動会でも、赤・青の二つの連合に分かれ、それぞれ団長を中心に独自の応援を展開しました。「西に霊峰富士を仰ぎ、東に清流荒川の流れを聞く」で始まる「亀中節」を演じる総団長の姿は全校生徒のあこがれです。男子の組体操・四段塔や女子のダンス・六段に寄せても評判で、その気迫・力強さ・優雅さが観客を魅了します。今年取り組んだソーラン節も新しい伝統になることでしょう。

清掃活動も伝統です。校舎の隅隅まで清掃が行き届いているだけでなく、各町会の清掃日には町会



応援団長のポーズが決まる

の方々と一緒に地域の清掃を行います。また、落ち葉の季節には、毎朝校門付近の落ち葉掃きを行います。これらの活動には多くの生徒が意欲的に参加し、他の人のために役に立つ喜びを実感しています。

これら良き伝統が確実に引き継がれている亀戸中学校です。

ワールドカップをめざせ!

第三大島幼稚園

第三大島幼稚園では6月23日にFC東京のコーチによるサッカー教室を昨年度に続き行いました。

プロの技を目の前にして「すごい」「早くやってみよう」という声があがりました。

年長児全員がユニホームを着て、リフティングの練習から始めました。ボールを追いかける姿は、みんな真剣です。グループに分かれ、ゴールをめがけてシュート。ゴールキーパーももちろん園児で

す。ちょうどワールドカップの時期と重なり、気分はみんなサッカー選手でした。

「頑張れ、ほらゴールして」「もっと遠くに蹴って」「お母さんたちの大きな声援を受け、幼稚園全体がサッカー場のような雰囲気ですり上がりました。普段サッカーに興味のない子どもたちも夢中になったひとときでした。

ゲームを終えた園児たちからは、「大きくなったらサッカー選手

手になりたい」「ワールドカップに出るぞ!」などの声が聞かれサッカーへの興味が大きくふくらんでいました。



うまいぞ! チビッコ選手たち

熱き思いと期待の日

第二南砂中学校

第二南砂中学校では、開校当時から現在まで毎朝、生徒の登校時間帯に保護者の方々が校門近くの交差点に立ち挨拶運動を続けています。

「おはよう」「おはようございませう」という元気なよい挨拶が飛び交っています。本校を訪れる地域の方々からは「朝の挨拶運動は続いていますか」と聞かれますが、学校選択制になり区域外から通学してくる生徒が多くなった今でも、この活動は続いています。

学区域外から通学している家庭からは「他の生徒の状況が良く解り安心します」という声が上がっています。また、生徒からは「自



分の親が見ていると緊張します」の声も。

「時間のやりくりが大変」という声や、雨の日や予想を超える悪天候の日もありますが、保護者や地域の熱い思いや期待の目が、生徒や学校をたくましく育んできました。

生徒の多くは、砂町で生まれ育っています。砂町の地を愛し砂町の人を愛し、今や親子二代にわたって第二南砂中に学ぶ家庭も増えました。「より一層地域に根ざした信頼厚い学校として歩み続けま

二つの大すき

数矢小学校

数矢小学校では、「二つの大すき」を活かした教育に取り組んでいます。

江戸とよばれていた頃からの木の町と八幡祭など子どもたちは、地域に誇りをもっています。

毎年恒例の「木工教室」はPTA、同窓生や地域の協力で、子どもたちは思い思いの大作に仕上げます。6年生は、数矢の子としての誇りをもって、毎日校庭に校章旗を掲揚します。また、毎週月曜日の全校朝会では、全員が交代で発表しています。

先日の朝会の話では、「私は本を

読むのが大すきです。本がすきになったきっかけは、小さい時にお母さんから毎日、本を読んでもらったからです。今でも、毎日日本を読んでいます。」というものでした。下学年の子どもたちは、これを食い入るように聞いていました。

また、全校遠足・校内壁清掃・地域清掃・集会・休み時間の交流等様々な場で「きょうだい学年」を活かした活動を取り入れていきます。これらの活動を通して、子どもたちに、「深川大すき・数矢大すき・友達大すき」の心がはぐくまれていきます。



朝会で6年生が発表



笑顔で交わす朝のあいさつ

6年生が1年生の手を引いて

第四砂町小学校

昔は異なった年齢の子どもたちが夕方遅くなるまで空き地で遊んでいたものです。第四砂町小学校では、子どもたちに仲間づくりの大切さや楽しさを味わせたいと考えています。そこで、一年間を通して6年生から1年生まで一緒にグループを作って、七夕集会や全校オリエンテーリングなどの活動をしています。

4月28日には最初の活動として、木場公園に全校遠足に行きました。事前にグループの顔合わせをしたり、公園での遊びを相談したりして準備しました。当日は好天に恵まれ、6年生が1年生の手を引いて30分かけて歩いて行きました。グループごとに遊びながら仲良くなる姿がたくさん見られた遠足になりました。

また、毎日の清掃もこのグル



いっしょにゲームをしようね!

ープで取り組んでいて、日常的にグループでの活動が定着しています。

「このような活動を続けることで、休み時間に大きい子が小さい子をおんぶしたり、追いかけてっこをしたりする本当のきょうだいのようなようすが見られるようになってきてうれしく感じています」と鈴木正孝校長は話していました。

あごいぞ

兄弟で世界一! がんばる小学生

江東区立第一大島小学校に通う藤井敬彦君(6年)、壮也君(3年)の兄弟が一輪車の世界大会「第13回国際一輪車競技大会」に参加し、「演技部門ペア・12歳以下クラス」で見事頂点に輝きました。

江東の若き力が関東へ全国へ(中学校)

全国大会出場	剣道	深川第二中	男子団体	男子団体戦	
			木立 快 (3年)	男子個人の部	
	水泳	深川第七中	佐々木美智 (3年)	女子個人の部	ベスト16
			市川拓海 (2年)	男子200m個人メドレー	
			大島中	新垣貴大 (3年)	男子100m背泳ぎ
	バドミントン	深川第三中	友行耕平 (3年)	男子200m個人メドレー	17位
				男子400m個人メドレー	20位
	陸上	深川第二中	男子団体	男子団体戦	ベスト16
			高岡透平 (3年)	男子シングルス	
			男子リレー	男子4×100m	
深川第三中			大原若菜 (3年)	女子走り幅跳び	
深川第五中			倉澤 舞 (3年)	女子200m	
辰巳中			佐藤一桐 (3年)	男子砲丸投げ	
サッカー	二砂中	東陽中	橋爪里佳 (3年)	女子100mH	準決勝進出
		三亀中	安藤圭太 (2年)	男子110mH	
関東大会出場	剣道	深川第二中	男子団体	男子団体戦	ベスト16
			木立 快 (3年)	男子個人の部	優勝
			佐々木美智 (3年)	女子個人の部	ベスト8
	水泳	深川第三中	女子総合優勝	女子総合優勝	
			女子リレー	女子400mメドレー	優勝
			女子リレー	女子400mフリー	4位
			松竹涼子 (1年)	女子200m個人メドレー	
			齊藤 茜 (2年)	女子400m個人メドレー	
			大原拓也 (3年)	女子100mバタフライ	
			小黒由衣花 (2年)	男子100mバタフライ	
	深川第四中	木室雄多郎 (3年)	女子100m・200m背泳ぎ		
	バドミントン	深川第三中	男子50m自由	男子50m自由	
			男子団体	男子団体戦	第三位
	ソフトテニス	深川第三中	高岡透平 (3年)	男子シングルス	5位
			石原典明 (3年)・岩井一弘 (3年)	男子ダブルス	ベスト16
			杉田 悠 (3年)・濱田鷹春 (3年)	男子個人の部	
			大島中	高橋芹奈 (3年)・中村一二美 (3年)	女子個人の部
	硬式テニス	第三亀戸中	横井菜都 (3年)・金井 茜 (2年)	女子個人の部	
青木 充・内田慧介 (3年)			男子個人の部		
柔道	第三亀戸中	小関みちか (3年)	女子シングルス		
		佐粧貴匡 (3年)	男子シングルス		
		岩永力樹 (2年)	男子90kg 超級		
陸上	深川第三中	高橋琴音 (3年)	女子48kg 級		
		尾寄万里奈 (3年)	女子63kg 級	ベスト8	
		大原若菜 (3年)	女子走り幅跳び	5位	
		奥山蓮子 (2年)	女子100m		
		戸室聡人 (3年)	男子200m		
卓球	深川第七中	倉澤 舞 (3年)	女子200m		
		辰巳中	佐藤一桐 (3年)	女子200m	
		東陽中	橋爪里佳 (3年)	男子砲丸投げ	7位
サッカー	第二砂町中	白鳥 愛 (1年)	女子100mH	8位	
		川口理緒 (3年)	1年女子走り幅跳び		
			女子シングルス	5位	